



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月31日

上場会社名 株式会社銀座ルノアール

コード番号 9853

URL https://www.ginza-renoir.co.jp

代 表 者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岡崎 裕成

上場取引所

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼財務部長

(氏名) 森田 正一 (TEL) 03-5342-0881

半期報告書提出予定日

2025年11月7日 配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高	高		売上高 営業		経常利	益	親会社株主 する中間約	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
2026年3月期中間期	4, 127	7. 2	116	514. 9	143	222. 6	126	382. 3	
2025年3月期中間期	3, 852	7. 0	18	_	44	317. 6	26	△38. 1	
(\(\frac{1}{2}\)\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	Hn _L 88 Hn	100	TT / 240 70/	\ 000F	- A D #n + 88 #	п 00	TTT / A 00	CO()	

(注)包括利益 2026年3月期中間期

128百万円(348.7%) 2025年3月期中間期 28百万円(△30.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	20. 74	_
2025年3月期中間期	4. 30	_

(2) 連結財政状態

(= / /C-14//15/17/10·					
	総資産	純資産	自己資本比率		
	百万円	百万円	%		
2026年3月期中間期	5, 817	3, 212	54. 5		
2025年3月期	5, 893	3, 107	51.9		
			_ ::-		

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 3,169百万円 2025年3月期 3,060百万円

2. 配当の状況

		← RR ▼3 14 . Δ						
		年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2025年3月期	_	0.00	_	3. 00	3. 00			
2026年3月期	_	0.00						
2026年3月期(予想)				3. 00	3. 00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 :無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は 対前期増減率)

(20 以外间, 外间,									
	売上高	5	営業利	益	経常利	益	親会社株主 が する当期純		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	8. 405	7. 8	238	190. 1	294	128. 5	294	_	48. 25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2.中間連結財務諸表及び主な注記(4)中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2020年3月朔中间朔	0, 100, 470秋	2023年3月朔中间朔	0, 100, 4707末
2026年3月期中間期	6 100 470±	2025年3月期中間期	6, 108, 478株
2026年3月期中間期	143, 526株	2025年3月期	143, 526株
2026年3月期中間期	6, 252, 004株	2025年3月期	6, 252, 004株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来についての記述等に関する注意)

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(1)当中間期の経営成績の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	経営成績等の概況	. 2
	(1) 当中間期の経営成績の概況	
	(2) 当中間期の財政状態の概況	. 2
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	. 2
2.	中間連結財務諸表及び主な注記	. 3
	(1) 中間連結貸借対照表	. 3
	(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	. 5
	(中間連結損益計算書)	. 5
	(中間連結包括利益計算書)	6
	(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	. 7
	(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	. 8
	(継続企業の前提に関する注記)	. 8
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	. 8
	(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	. 8
	(セグメント情報等の注記)	. 8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、賃上げによる所得環境の改善が進み、インバウンド需要が引き続き好調なことにより、堅調に推移しております。一方で、地政学リスクや米国の関税政策などの要因から原材料コストやエネルギーコストの高騰も続いており、人材採用難による働き手不足、人件費の上昇等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは持続的成長と企業価値向上を実現するために、メインブランドである 『喫茶室ルノアール』の出店を加速し、各ブランドを含め、首都圏を中心に出店地域の拡大を図ってまいりま す。さらに、人員配置の効率化等、各種経費削減にも継続して努めてまいります。

今後も、更にお客様に求められる価値観を提供し続けることが出来るよう、より高品質の商品やホスピタリティあふれるサービスの提供に努めてまいります。

店舗数につきましては、2025年4月ニューヨーカーズ・カフェ新橋汐留口駅前店、7月吉祥寺南口駅前店を新規オープンし、2025年4月カフェ・ミヤマ渋谷センター街店を業態変更し、渋谷センター街店としてオープンいたしましたので、104店舗となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は4,127百万円(前年同期比275百万円増)となり、営業利益は116百万円(前年同期比97百万円増)、経常利益は143百万円(前年同期比99百万円増)、親会社株主に帰属する中間純利益は126百万円(前年同期比100百万円増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、5,817百万円となり前連結会計年度末に比べ76百万円の減少となりました。 これは主に、有形固定資産が31百万円増加したものの、現金及び預金が83百万円減少したことによるものであります。

負債は、2,604百万円となり前連結会計年度末に比べ181百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金が90百万円、長期借入金が35百万円、リース債務(流動)が31百万円減少したことによるものであります。

また、純資産は3,212百万円となり前連結会計年度末に比べ105百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が108百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は54.5%(前連結会計年度末は51.9%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,878百万円となり前連結会計年度末に比べ83百万円減少いたしました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは216百万円の収入(前年同期比168百万円増)となりました。これは主に、 税金等調整前中間純利益が142百万円、減価償却費が93百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは118百万円の支出(前年同期比85百万円減)となりました。これは主に、有 形固定資産の取得による支出が115百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは180百万円の支出(前年同期比86百万円増)となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出が90百万円、長期借入金の返済による支出が35百万円、リース債務の返済による支出が31百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において、2025年5月9日に公表致しました業績予想の変更はございません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

	*************************************	(単位:千円
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 962, 116	1, 878, 75
売掛金	241, 095	228, 10
商品	31, 235	35, 64
その他	193, 560	190, 10
流動資産合計	2, 428, 008	2, 332, 6
固定資産		
有形固定資産		
建物	3, 309, 803	3, 400, 6
減価償却累計額	$\triangle 2, 337, 156$	△2, 381, 3
建物(純額)	972, 646	1, 019, 3
工具、器具及び備品	334, 240	349, 1
減価償却累計額	△295, 813	△297, 8
工具、器具及び備品(純額)	38, 427	51, 3
土地	516, 039	516, 0
リース資産	279, 987	279, 9
減価償却累計額	△228, 367	△256, 5
リース資産 (純額)	51, 619	23, 4
建設仮勘定	2, 915	
その他	5, 041	6, 4
減価償却累計額	△5, 041	$\triangle 3, 2$
その他(純額)	0	3, 2
有形固定資産合計	1, 581, 647	1, 613, 4
無形固定資産		
ソフトウエア	6, 189	4, 5
その他	1, 111	1, 0
無形固定資產合計	7, 300	5, 6
投資その他の資産		
投資有価証券	89, 630	90, 0
長期貸付金	32, 385	30, 5
敷金及び保証金	1, 478, 924	1, 469, 1
長期預金	100, 000	100, 0
繰延税金資産	87, 831	87, 8
その他	87, 507	87, 6
投資その他の資産合計	1, 876, 278	1, 865, 3
固定資産合計	3, 465, 227	3, 484, 3
資産合計	5, 893, 235	5, 817, 0

(単	14	千	Ш	\
1 #	-11/	- 1	$\overline{}$,

		(単位:十円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	123, 464	114, 559
短期借入金	1, 490, 800	1, 400, 800
リース債務	58, 432	26, 606
未払法人税等	25, 444	13, 955
賞与引当金	47, 150	46, 710
株主優待引当金	21, 788	6, 729
その他	308, 880	311, 934
流動負債合計	2, 075, 960	1, 921, 295
固定負債		
長期借入金	393, 800	358, 400
役員退職慰労引当金	133, 522	142, 669
退職給付に係る負債	165, 889	165, 101
その他	17, 013	17, 013
固定負債合計	710, 225	683, 184
負債合計	2, 786, 185	2, 604, 480
純資産の部		
株主資本		
資本金	100, 000	100, 000
資本剰余金	1, 735, 459	1, 735, 459
利益剰余金	1, 348, 332	1, 456, 700
自己株式	△111,095	△111, 095
株主資本合計	3, 072, 696	3, 181, 064
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,008	△11, 585
その他の包括利益累計額合計	△12, 008	△11, 585
非支配株主持分	46, 361	43, 055
純資産合計	3, 107, 049	3, 212, 534
負債純資産合計	5, 893, 235	5, 817, 014

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 (中間連結損益計算書)

		(単位:千円)
	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
	(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	3, 852, 241	4, 127, 816
売上原価	731, 208	767, 227
売上総利益	3, 121, 033	3, 360, 589
販売費及び一般管理費	3, 102, 149	3, 244, 477
営業利益	18, 883	116, 111
営業外収益		·
受取利息	713	993
受取配当金	6	7
受取家賃	19, 894	19, 859
受取保険料	160	508
協賛金収入	13, 972	17, 037
その他	3, 512	6, 693
営業外収益合計	38, 259	45, 099
営業外費用		
支払利息	8, 376	12, 360
不動産賃貸費用	2, 818	2, 783
撤去費用	341	878
その他	1,038	1, 418
営業外費用合計	12, 576	17, 440
経常利益	44, 566	143, 770
特別利益		
固定資産売却益	<u> </u>	402
特別利益合計	<u> </u>	402
特別損失		
固定資産廃棄損	1, 333	1,738
特別損失合計	1, 333	1,738
税金等調整前中間純利益	43, 233	142, 435
法人税等	14, 670	14, 069
中間純利益	28, 562	128, 365
非支配株主に帰属する中間純利益	2, 292	1, 672
親会社株主に帰属する中間純利益	26, 269	126, 693

(中間連結包括利益計算書)

		(単位:千円)_
	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
	(自 2024年4月1日	(自 2025年4月1日
	至 2024年9月30日)	至 2025年9月30日)
中間純利益	28, 562	128, 365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	142	422
その他の包括利益合計	142	422
中間包括利益	28, 704	128, 788
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	26, 411	127, 116
非支配株主に係る中間包括利益	2, 292	1,672

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) 43,233 98,065 11,380 8,677 △570	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日) 142,435 93,032 12,580
税金等調整前中間純利益 減価償却費 長期前払費用償却額 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) 賞与引当金の増減額(△は減少) 株主優待引当金の増減額(△は減少)	98, 065 11, 380 8, 677	142, 435 93, 032
減価償却費 長期前払費用償却額 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) 賞与引当金の増減額(△は減少) 株主優待引当金の増減額(△は減少)	98, 065 11, 380 8, 677	93, 032
長期前払費用償却額 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) 賞与引当金の増減額(△は減少) 株主優待引当金の増減額(△は減少)	11, 380 8, 677	
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) 賞与引当金の増減額(△は減少) 株主優待引当金の増減額(△は減少)	8, 677	12, 580
賞与引当金の増減額 (△は減少) 株主優待引当金の増減額 (△は減少)		,
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△570	9, 147
		$\triangle 440$
は職給付に係る角售の増減類 (∧)は減小	△13, 838	△15, 058
必帳施門に所る見頂の境(△は例グ)	$\triangle 5,450$	△787
受取利息及び受取配当金	△719	△1,001
支払利息	8, 376	12, 360
固定資産売却損益(△は益)	_	△402
固定資産廃棄損	1, 333	1,738
売上債権の増減額(△は増加)	16, 634	12, 989
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3, 149	$\triangle 4,404$
仕入債務の増減額(△は減少)	△8, 848	△8, 904
未払消費税等の増減額(△は減少)	△45, 014	△16, 043
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	1, 349	2, 729
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△25, 861	10, 636
その他	△4, 514	1, 933
小計	81, 086	252, 539
利息及び配当金の受取額	436	746
利息の支払額	△8, 771	△11,845
法人税等の支払額	△24, 988	△25, 403
営業活動によるキャッシュ・フロー	47, 762	216, 036
投資活動によるキャッシュ・フロー		
長期貸付金の回収による収入	2, 375	2,075
有形固定資産の取得による支出	△179, 417	△115, 743
有形固定資産の売却による収入	_	402
敷金及び保証金の差入による支出	△31, 253	_
敷金及び保証金の回収による収入	17, 505	1, 269
その他	△13, 523	△6,874
投資活動によるキャッシュ・フロー	△204, 313	△118,870
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△40, 000	△90, 000
リース債務の返済による支出	△31, 415	△31, 825
配当金の支払額	△18, 489	△18, 321
長期借入金の返済による支出	_	△35, 400
非支配株主への配当金の支払額	△3, 677	△4, 978
財務活動によるキャッシュ・フロー	△93, 583	△180, 525
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△250, 133	△83, 360
現金及び現金同等物の期首残高	2, 287, 355	1, 962, 116
現金及び現金同等物の中間期末残高	2, 037, 221	1, 878, 756

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の 実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積 実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法に よっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)及び当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

当社グループは、喫茶等事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。